

恩寵園だより

31号

ことば・言葉・コミュニケーション

毎朝、集合住宅の一角に咲く、四季折々のお花と香を愛でながら職場に向かいます。一日の始まりの一步に、とても心が洗われます。「今日も頑張ろう。事故なく無事に過ごせるように……。」と思い歩いております。

せわしい出勤時間には、不思議と同じ時間、場所で毎日同じ方と遭遇します。自然と「あっ!! いつもこの時間、この場所で会うな。」「あれ? 今日はどうしたのかな? 具合が悪いのかしら?」と想像してしまいます。

そのうち、目と目が合うと会釈をするようになり、どちらからともなく自然に声を掛けあうようになります。

そうこうするうちに、ご近所の方だと分かるようになってたりもします。このような関わりから、いざという時に協力できるような関係性が築けるようになります。これは自助・共助に結びつくと思います。“一日の始まりは、あいさつ”ですね。

さて、「ことば」は生き物であります。大事に扱ってほしいと思います。

近年、ユニセクスの会話をする耳にすることがあり、つい振り向いてしまうことがあります。また、SNSなどで連絡を取り合う機会が増え、文章も簡略化され解釈次第でトラブルになることが多くなってきました。

子ども達は自分の感情を言語化して表現することが難しく、単語や短縮された新しい造語が目立つようになり、長く生きてきた者には若者の会話を理解するのに時間がかかります。“こちよい ことばづかい”を期待します。

話は変わりますが、先日104歳で亡くなられた日野原先生の生前のインタビューに触れ、先生の心強いエールに、先生からみたら「ひよっこ」である私も気を引き締めて生きたいと感じました。感謝に満ちた気持ちでキープ・オン・ゴーイング。前進また前進を、私たちは続けなくてはなりません。

先日、「第1回 人生100年時代構想会議」が開催されましたが、まだまだ「ひよっこ」の私でも社会に貢献できるでしょうか。

本間 敏子

1. ことば・言葉・コミュニケーション

2. 地域の夏祭り

3. 菜厨瑠会お食事会

4. 感謝のページ

- ・ ボランティアさんの紹介
- ・ ご寄附の紹介

地域の夏祭り



恩寵園の宿泊旅行

おんちょう園では、子ども達の長期休暇を利用して旅行を企画しています。

幼児・小学校低学年・小学校高学年・中学1、2年生・中学3年生・高校生と年齢層別に職員と子ども達で行き先やイベントを考え、旅行を通して子ども達に経験と思い出を作って成長してもらいたいと思い取り組んでいます。

里親支援について

おんちょう園では、里親支援相談員という職員を配置しています。児童相談所の職員、里親委託等推進員、里親会等と連携して、里親委託の推進及び里親支援の充実を図ることを目的として活動しています。

里親制度にご関心のある方は、当園の里親支援専門相談員にお気軽にお尋ねください。



※プライバシー保護のため、一般の方の顔はぼかしております



おんちょう園のある地域では、毎年8月に薬円台北部自治会連合会様の主催で、薬円台小学校のグラウンドにて夏祭りが催されます。

「子ども神輿」と名付けられたお神輿とともに、子どもたちが町内を練り歩くところからお祭りは始まります。また、出店での販売や工作教室などが明るいうちから始まり、陽が落ちる前から会場は賑わい始めます。

辺りが暗くなると、盆踊りや太鼓の演奏が始まり、お祭りは一層の賑わいを見せます。そして、クライマックスになると花火が打ち上げられ、盛況のうちにお祭りは幕を閉じます。

菜厨瑠会お食事会



おんちよう園のボランティアさん



おんちよう園では様々なボランティアさんが活動されています。遊びなどの子ども達との触れ合い、学習を支援してくださる方、子ども達の髪をカットしてくださる方々、夏祭りなどのイベントを企画または招待などをしてくださる方々など、子どもたちは多くの方々のご支援を受けて成長しています。



おんちよう園では、毎年「菜厨瑠(ナチュラル)会」様のご好意により、アパホテル東京潮見駅前様のレストランスペースをお借りしたお食事会にご招待をいただいています。

子ども達の中には、ホテルに行った経験がないという子もいます。ホテルってどういうところなんだろう、どういった料理が出てくるのだろう。そのような疑問を解消する、社会経験の場にもなっているのではないのでしょうか。

ホテルの雰囲気を感じ取り、料理やデザートを楽しみ、子ども達はナチュラル会の皆様と一緒に楽しい時間を過ごしました。



感謝のページ

児童養護施設 恩寵園



おんちょう園でお世話になっているボランティア団体の方々をご紹介します。大変申し訳ありませんが、個人の方につきましては、多種多様となるため割愛させていただきます。物品寄附や寄附金をくださった方のご紹介もいたします。

ボランティアさんの紹介

ボランティア団体名〈敬称略〉
市川友の会
お話し会
フィリップモリスジャパン
船橋福祉会
立正佼成会
いちご会・いちえん会
ファミリー(千葉大学学生サークル)
ソーシャル・アーティスト・ネットワーク
チョッキンズ
One Step(ワンステップ)
虹のアトリエ
NPO法人ナルク 船橋さざんかの会

〒274-0077
千葉県船橋市薬円台4-6-2

TEL 047-466-4020
FAX 047-466-4047

e-mail info@onchoen.or.jp
HP <http://www.onchoen.or.jp/>

ご寄附くださった皆さまのご紹介

(お名前に誤字、脱字、記載漏れなどありましたら、恐れ入りますがご一報ください。)

※本誌は、関係各機関やご寄贈等くださいました皆様に向けてご送付しております。ご不要の場合には、お手数ですがご一報ください。

発行年月日 2017年11月13日
発行責任者 園長 本間 敏子



期間 2017.4.1～2017.9.30

団体・企業(順不同、敬称略)

One Step、いちご会・いちえん会、ライジング習志野店、ハップス三咲店、株式会社キャサリンコテージ、株式会社 舞秀、セカンドハーベスト・ジャパン、タリーズコーヒージャパン、フィリップモリスジャパン(同)、チュチュアンナ、株式会社いしとも、パーラーウェーブ薬円台、株式会社 UYEKI、岡本株式会社

個人(順不同、敬称略)

岸本陽子、金村慶二、好川道子、Shigeko E. Vu、西本、難波、こまき、匿名11名

※本文に記載の個人情報、基本原則にのっとり、適正な扱いに努めます。ただし、本紙は特定の関係者に配布されること、HPに掲載されることをご了承下さい。